

一以貫之

平成29年度 敦賀気比高等学校 第1学年
学年通信 第12号
平成30年1月30日(火)

(いちいかんし)

「一を以て之を貫く」とも読みます。
孔子の『論語』にある言葉で「一つの思いを 曲げずに貫き通す」という意味です。
自分がこれと思ったことは、諦めずに最後まで頑張り通しましょう！

体調管理に気をつけよう

大変寒い日が続きますが、みなさん体調はいかがですか。例年この時期になると、インフルエンザが流行します。実際、4組を含めて2クラスが学級閉鎖になりましたが、原則としてクラスの3割の生徒がインフルエンザを含め、風邪、発熱等で欠席した場合に学級閉鎖となります。中には学校が休みになってラッキーなどと思う人もいますが、その分、ちゃんと放課後に補習が組まれるのを知ってますか？他のクラスの人たちが授業が終わって帰ることができるときに、そのクラスの人たちは放課後に補習を受けなくてはなりません。みなさんも先生方も大変です。ですから、そうならないように、一人一人がうがいや手洗いを励行し、睡眠時間をしっかり取るなど体調管理に十分気をつけて学校を休まないようにしてください。

インフルエンザに

注意!!



というのも、欠席日数というものが、みなさんの進路に大きく影響してくるからです。進学にしても就職にしても、欠席日数の多い人はまず学校からの推薦を受けられません。目安として高校3年間で10日以上欠席があると、欠席が多いと見なされると覚えておいてください。10日以上の方は大学の推薦入試を受けられなかったり、30日ある人は出願すらできない企業もあります。

もちろん、部活動の公欠や忌引き、インフルエンザによる休みは出席すべき日数から除かれるので、欠席にはなりません。そうでない病欠(風邪、頭痛、腹痛、体調不良など)は極力しないよう心掛けてください。後で自分が困らないよう、普段から体調管理に気を配りましょう！

栄養をしっかりとることも忘れなく。

2月の行事予定



1日(木)	血液・心電図検査(希望者)
3日(土)	高大連携美術研修会(京都)
5日(月)	休業日 高校・試験制入試(1日目)
6日(火)	休業日 高校・試験制入試(2日目)
8日(木)	中学生・学校見学
9日(金)	第3回 漢字検定
10日(土)	休業日
12日(月)	振替休日
14日(火)	高校2年生・修学旅行(沖縄 ~17日)
18日(日)	英検(2次)
23日(金)	第3回・漢字コンテスト
24日(土)	休業日
27日(火)	学年末考査・時間割発表
28日(火)	午前中授業(午後)卒業式・予行練習



今年はお留守番です



しっかりと校歌が歌えるように、練習しておきましょう！

【保存版】 あなたの夢は何ですか？！

学年通信第10号から始めたこれからの進路に関するコラムの3回目ですが、今回は**進学することを志す人を対象**に話をしたいと思います。

まず、皆さんが進学先として考える学校には、卒業後に就く職業がイメージしやすいかどうかで、専修学校(専門学校)と大学(短大を含む)に分けられます。

一般に、**卒業後に就く職業がイメージしやすい専修学校(専門学校)**では、専門的な知識や技能の修得を目指したカリキュラムが組まれており、これを卒業すると**専門士(高度専門士)、準学士**という**称号**が与えられます。

もし皆さんが、こうした職業に就きたいという具体的な夢(例えば、美容師・理容師になりたいとか、調理師になりたい)を持っているのならば、その夢に応じた学校(美容・理容専門学校や調理師専門学校)に入学して学べばよいのです。

ただし、自動車の整備士や看護師などの資格の場合、次に説明する大学(短大を含む)でもとれるものがありますし、医師・歯科医師・薬剤師の資格のように、大学でしか取得できないというものもあります。



これに対して、**卒業後に就く職業がイメージしにくい大学(短大を含む)**では、専門的な知識や技能の修得ばかりではなく、高い教養を身に付けることも必要であり、これに即したカリキュラムが組まれています。そして、これを卒業すると**学士(短大学士)**という**学位**が授与されます。

ここで1つ疑問が湧くと思います。それは、称号と学位では何が違うのかということです。はっきり言ってしまえば、国際的に認められるかどうかの違いです。**国際的に認められるものが学位**であり、称号を受けても国際的には高等教育を受けたとは認めてもらえないのです。しかし、国内で使う場合には、どちらもほぼ同等の扱いを受けますので、違いはないといえるかも知れません。

さて最後に、専修学校(専門学校)と大学(短大を含む)のどちらに行くかというのを考えてみたいと思います。

これまで触れてきたとおり、**どちらにするのかは将来何になりたいのかによる**のです。**どちらに行っても取れる資格**であるのなら、**学費や入りやすさなどを基準**に考えるとよいでしょう。一方、どちらかに行かなくては取れない資格ならば、その資格が取れる方に進学すべきです。

ところで、**自分はまだ何になりたいという目標がない人**はどうしたらいいのでしょうか。こうした人は、**大学(短大を含む)に進む**ことをすすめます。ある意味、大学(短大を含む)で過ごす時間は、将来就くべき職業を選択するための時間なのです。

とはいえ、入れるならばどこでもよいというわけではありません。なぜなら、大学(短大を含む)には、高校でいうところの普通科のような、何でも学び、どこにも行けるといような学部はないからです。つまり、学部という名の、高校でいうところの工業科・商業科・食品科・農林科などの専門分野の選択をする必要があるということです。

ですから、進学を目指す人は**少なくとも今自分はどのようなことに興味・関心を持っているのか**だけははっきりさせることから始めてください。

